

## 4-4. 歴史的・文化的環境

### 4-4-1. 文化財

事業計画地周辺における文化財の状況は、表4-4.1及び図4-4.1に示すとおりである。

事業計画地及びその周辺には、「大阪府古文化記念物等保存顕彰規則」（昭和24年大阪府教育委員会規則第8号）で名勝に指定されている磐船峡があり、事業計画地の道路に面する部分がかかっている。事業計画地の周辺の埋蔵文化財は、東約1.4kmには廃小松寺跡があり、南約400mに大角遺跡、さらに南側には田原遺跡、佐越遺跡、北田原城等がある。

表4-4.1(1) 事業計画地周辺における文化財の状況（有形文化財及び古文化記念物）

指定	分野	種別		名称	所在地	指定年月日
国	国宝	美術工芸品	彫刻	薬師如来坐像	交野市大字私市2387番地 普賢山獅子窟寺	昭和43年4月12日
	登録有形文化財	建造物	土木構造物	天野川石堰堤工	交野市私市	平成15年1月31日
		建造物	土木構造物	尺治川砂防堰堤	交野市私市7	平成15年1月31日
		建造物	土木構造物	尺治川床固工	交野市私市	平成15年1月31日
大阪府	大阪府指定有形文化財	建造物	工作物	逢阪石造五輪塔	四條畷市大字逢阪563番4	昭和52年3月31日
	大阪府古文化記念物等保存顕彰規則指定(名勝)	記念物	名勝(峡谷)	磐船峡	交野市私市	昭和16年1月27日
	大阪府古文化記念物等保存顕彰規則指定(重要美術品)	美術工芸品	彫刻	私市惣墓石造地蔵菩薩立像	交野市私市惣墓	昭和34年9月25日

出典：「国指定文化財等検索システム」（文化庁ホームページ）  
「大阪府の文化財」（大阪府ホームページ）  
「交野市文化財分布地図（改訂版）」（平成20年、交野市）  
「四條畷市統計書（平成23年版）」（四條畷市ホームページ）より作成

表4-4.1(2) 事業計画地周辺における文化財の状況（埋蔵文化財）

市名	文化財名称	種類
交野市	外殿垣内遺跡	散布地
	私市滝が広遺跡	集落跡・その他の墓
	妙見山古墳	古墳
交野市・四條畷市	廃小松寺跡	寺院跡
四條畷市	逢阪遺跡	集落跡
	田原遺跡（滝寺遺跡）	集落跡
	照涌墓地	両墓制
	的場遺跡	集落跡
	古堤街道	その他
	清滝街道	その他
生駒市	大角遺跡	遺物散布地
	佐越遺跡	生産遺跡・遺物散布地
	北田原城	城館跡
	高山城跡	城館跡
	大庵遺跡	遺物散布地
	大北遺跡	遺物散布地
	イモ山第1～6号窯	生産遺跡（窯跡）
—	古墳？	

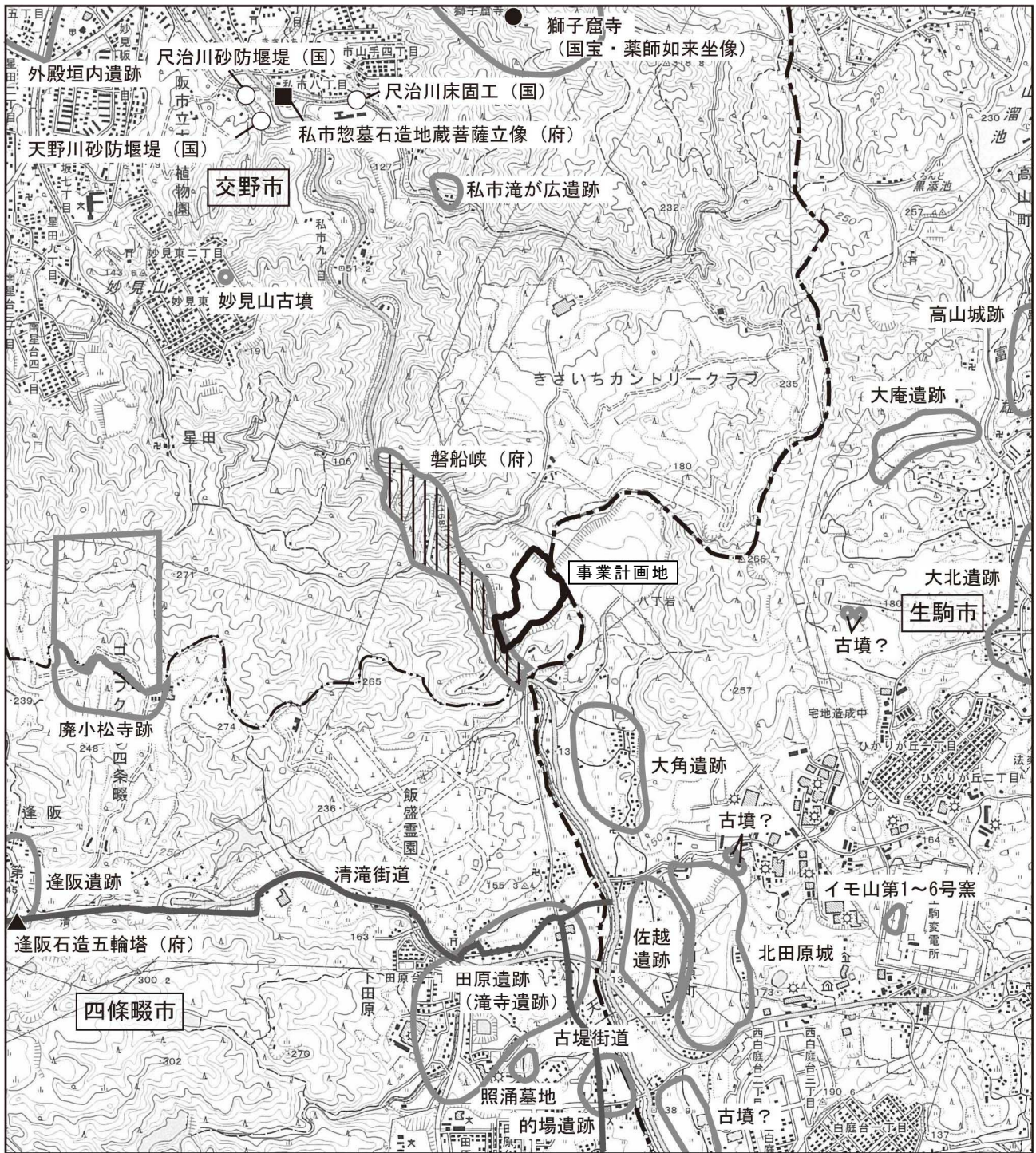
注) 表中の「—」は、出典の文化財名称が空欄となっているものであり、種類が「古墳？」となっている。(図4-4.1の5箇所参照)

出典：「地図情報システム（平成21年作成）」（大阪府ホームページ）

「交野市文化財分布地図（改訂版）」（平成20年、交野市）

「四條畷市埋蔵文化財分布図」（平成9年、四條畷市）

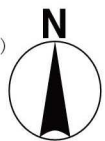
「生駒市遺跡地図」（生駒市）より作成



凡 例  事業計画地  府県境  市境

- 国宝（彫刻）
- 国指定登録有形文化財（土木構造物）
- ▲ 大阪府指定有形文化財（工作物）
- 大阪府古文化記念物等保存顕彰規則指定（彫刻）
- |||| 大阪府古文化記念物等保存顕彰規則指定（名勝）
- 埋蔵文化財

出典：「地図情報システム（平成21年作成）」（大阪府ホームページ）  
「交野市文化財分布地図（改訂版）」（平成20年、交野市）  
「四條畷市埋蔵文化財分布図」（平成9年、四條畷市）  
「四條畷市統計書（平成23年版）」（四條畷市ホームページ）  
「生駒市遺跡地図」（生駒市）



1:25,000



図4-4.1 事業計画地周辺の文化財の状況

#### 4-4-2. 歴史的・文化的景観

「交野市の沿革」（市民のしおり）には、次のとおり記載されている。交野市に人が住み始めたのは、1万3千年前といわれており、縄文時代早期の神宮寺遺跡や弥生時代の南山遺跡をはじめ、古墳時代には森地区に大規模集落が形成され（森遺跡）、森古墳群（古墳時代前期）、交野車塚古墳群（古墳時代中期～後期）が築かれた。奈良時代には郡津地区に交野郡の役所（交野郡衙跡）が置かれた。

「交野市緑の基本計画」（平成23年、交野市）によると、交野市ではまちの豊かな歴史を大切に保存し、将来に伝えるため「交野八景」（交野山の来光、源氏の滝の清涼、かいがけの錦繡、妙見の観桜、獅子窟の青嵐、尺治の翠影、天の樟船溪谷の朝霧、星の森の寒月）が市民に選ばれている。

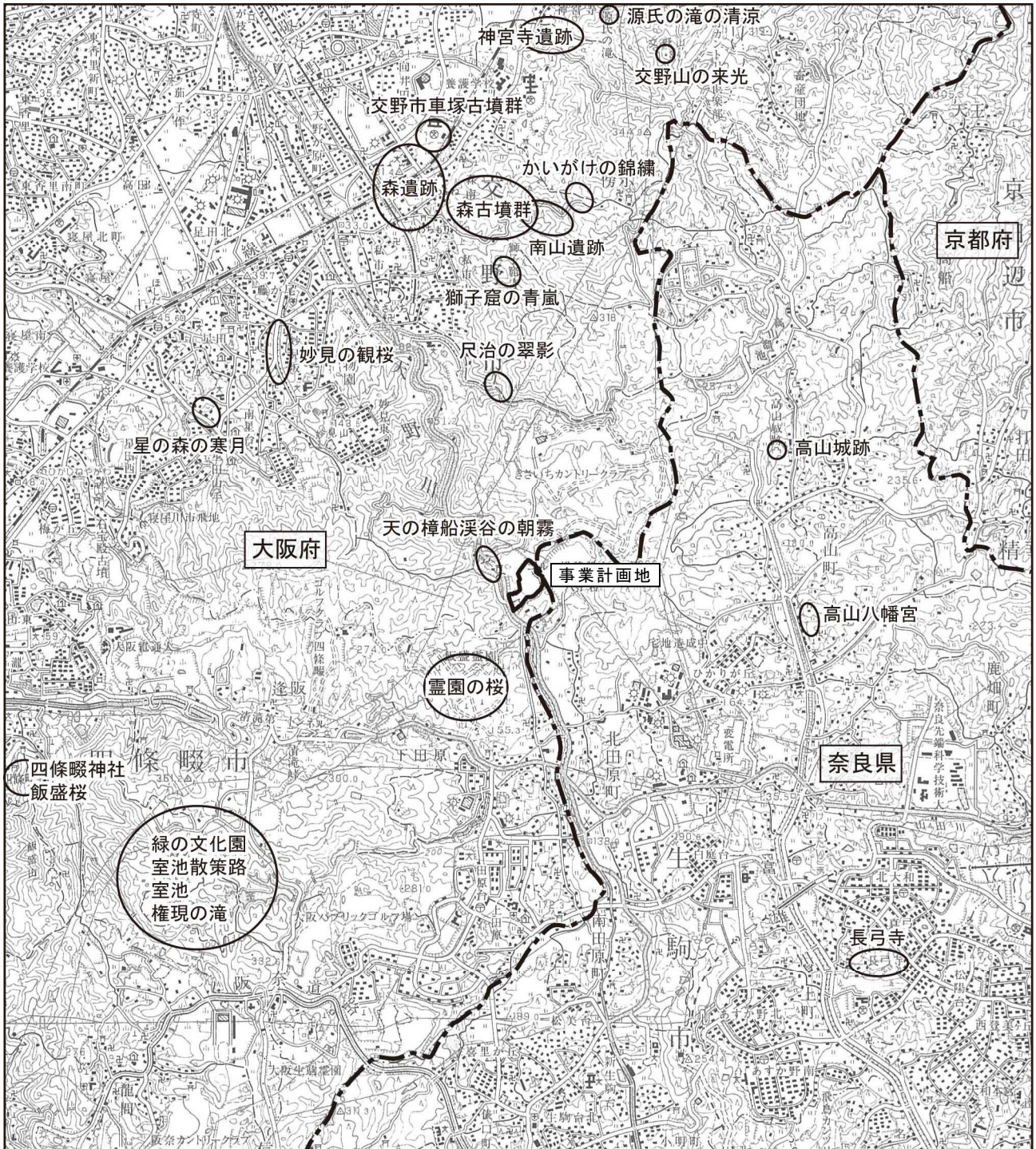
「四條畷市環境基本計画【後期計画】」（平成24年、四條畷市）には、次のとおり記載されている。四條畷市は、1万5千年も前の旧石器時代から人々が暮らしていたとされており、縄文式土器や埴輪の出土のほか、四條畷の合戦の史跡などの歴史的文化的遺産が多くある。過去に清滝川、権現川等に見られた水車群は、地場産業の基幹的役割を果たし、また古くから室池の上水・農業用水の利用の歴史が見られるなど水文化（利水）の構築が図られた。水運の名残である葺屋等の旧集落は、古くから微高地に発達したもので、落ち着いた町並みなど歴史的な集落景観が残されている。

四條畷市には、「四條畷八景」（室池、権現の滝、霊園の桜、飯盛桜、四條畷神社、小楠公の楠、室池散策路、緑の文化園）と呼ばれる名所があり、市街地の背景にある豊かな緑は、四條畷らしい景観を特徴づけている。

「生駒市都市計画マスタープラン・景観計画策定にかかる基礎調査（生駒市の現況とまちづくりの課題）」によると、生駒市は、往馬大社、宝山寺、長弓寺など多くの歴史的文化的資源があり、特色ある歴史的景観を形成している。代表的な歴史的景観地区として、高山城跡・高山八幡宮周辺地区、長弓寺周辺地区、宝山寺周辺地区、往馬大社周辺地区があげられる。

事業計画地周辺の歴史的・文化的景観の状況は、図4-4.2に示すとおりである。

また、「生駒市景観計画」（平成23年、生駒市）によると、事業計画地周辺は自然景観区域及び田園景観区域となっており、良好な景観の形成に関する方針としては、生駒山系や矢田丘陵の景観の保全や、四季折々の景観を醸し出すふるさと景観として、田園風景を保全すること等が示されている。



凡 例  事業計画地    - - - 府県境



1:50,000

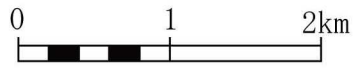


図4-4.2 事業計画地周辺の歴史的・文化的景観の状況